

受付	令和7年2月19日
	午前 午後 3時 8分

一 般 質 問 通 告 書

令和7年2月19日

高山村議会議長 西原 澄夫 様

高山村議会議員 湯本 辰雄

質問事項	質問の趣旨
1. 国民健康保険について	国保は協会健保と比較して、保険料が高額である旨は周知の事実である。そのうち、均等割りは人头税と同様の制度となっており、1人ごとに増加するため、所得のない子どもも1人分は負担している。
	質問要旨と質問
	<ol style="list-style-type: none"> せめて所得がない子どもにかかる均等割りは、子育て支援政策として、廃止を求める。 本村の応能負担と応益負担割合は当面変更しないように求める。
質問事項	質問の趣旨
2. 保育事業について	たかやま保育園は、0歳児から5歳児までおよそ130人が利用している。3歳未満児には給食が支給されるが、3歳児以上はご飯を持参して、おかずが支給されている。次年度には保温器を導入して「温かい昼ごはんを与える」との計画のようだが、本来は自炊したご飯であるものとする。
	質問要旨と質問
	<ol style="list-style-type: none"> 早期に保育園での自炊による温かい給食を支給できるよう要望する。

質問事項	質問の趣旨
3. 補聴器購入に助成を	<p>団塊の世代の高齢化が進み、ますます高齢者人口が増加しているなかで、加齢性難聴になる方がいる。 こうした方が、障がい者認定で補聴器を購入するには一定の時間がかかり、また、程度によっては障がい者認定されない人もいる。</p>
	質問要旨と質問
	<p>1. 難聴になっても生きがいのある生活を支援するために、加齢性難聴者が補聴器購入された場合、助成金の給付を求める。</p>
質問事項	質問の趣旨
	質問要旨と質問